

「平成29年の地方からの提案等に関する対応方針」を受けての今後の議論の進め方

主な論点

【 多様なニーズへの対応 】

- 自立を育む多様な体験ができる居場所づくり
- 年齢に着目した（例 4～6年生（高学年））取組の必要性
- 「家庭的学童」等

【 放課後児童クラブの充実 】

- 放課後子供教室、児童館等との連携方策の検討
（＝子どもの「生活の場」としての充実方策の検討）
- 障害児等の多様な子どもの受け入れ体制
- 現行クラブの設置促進及び支援員の確保・定着策の検討
〔＝支援員の養成促進策、処遇改善策、地域人材の活用策等の検討〕
〔＝参酌基準化による地域の実情等を踏まえた対策等の促進 ※〕

※に関する論点は、平成29年12月26日閣議決定に基づき「地方分権の議論の場」で検討。

その他の論点についても基準化の是非及び基準化する場合のあり方は、適宜「地方分権の議論の場」で検討。